

## たちばな教育サロン

# オンライン授業をつくるために 考えていること

—目的と状況に応じてルールと課題を変える—

発達教育学部児童教育学科 池田 修

事務局からは、どんな授業をしているのか紹介してくださいということでした。実施した授業の種類と使っていたツールを簡単に紹介いたします。

私は、教員養成科目を担当しております。具体的には、国語科教育法Ⅰ・Ⅱ、教科教育法（国語）、教職入門（初等）、国語概論（書写）、小学校ICT演習、学級担任論、特別活動論、ゼミなどを担当しております。最大人数の授業は、教職入門（初等）で、165人が登録していました。

2020年度の前期は、教科教育法（国語）の授業で、「漢字テストの実施と採点方法の指導」の時だけ、対面で行いましたが、あとは全てオンラインで実施しました。後期は、対面でもやりましたが、大学に来られない学生のためには、ハイブリッド型（対面とオンラインを同時に行う）で実施していました。

授業のツールは、zoomでした。ガイダンスだけyoutubeにアップした動画を見せましたが、他は全て双方向性のライブの授業で行いました。

学習者への課題の提示や質問は、Google classroomで実施しました。

なお、以下の26で紹介している資料は、学生に使用の許可を得ているものを載せてあります。ではありますが、紀要論文と電子ブック「ドローンを活用した授業づくりのまとめ～教室にドローンがやってきたら、さあ、どうする？～」以外の二次使用はご遠慮ください。よろしく願いいたします。

## 基本的な考え方

1. 遠隔授業も、授業。
2. ICT機器は、増幅装置。
3. 日頃から板書やスライドは使わない授業をしている。

## オンライン授業のためのいくつかのスキル

### 話し方について

4. 「えー、あー、うー」などのfillerをなくす。
5. 間（ま）を大きく取る。
6. 話すスピードは、対面の1.5倍で、ゆっくりと。
7. ラベリングとナンバリングをして話すことを心がける。
8. 指示語（コソアドことば）ではなく、連体詞を使う。「これが、～」ではなく、「この〇〇が、～」とする。

### 授業の進め方について

9. 開始前には、zoomに音楽を流す。
10. オンライン授業は、私語はないが、相談もできない。そこで、チャット、teams、line、なども同時に使うことを推奨。
11. 自分にはライトを当てる。
12. カメラを見て話すこともある。対面授業だって、全員を見ていない。
13. 学習者のカメラはオンで。表情発言（野口芳宏）を大事にする。
  1. カメラに写りたくない学生は、カメラが壊れていることにする。
14. 作業中は画面をオフ。できた人からオンにする。
15. 休憩時間は、マイクとカメラをオフ。
16. 手元を写したい時（書写など）は、自分のスマホでもログインして、スマホのカメラで手元を写す。
17. 簡単な反応が欲しい時は、手を振らせる。
18. 発問への回答は、チャットに書かせる。
19. チャットへの質問の返信は口頭で返す。
20. ブレイクアウトルームは、授業中に1、2回は使う。
21. 最後は手を振ってさようなら。学生が全員退出するまで待っている。最後に質問や相談する学生が残る。
22. 課題には、基本的に返信をする。

## 授業例

### 23.全授業の、全員をYouTuberにした。

1. ICTスキルを身に付けさせる。オンラインでの発表や模擬授業に対応を目的として。GIGAスクール<sup>1</sup>時代の教員養成も踏まえて。
2. 2021年度からの学習指導要領では、「主体的・対話的で、深い学び」が求められる。
3. 「予め答えの用意のできない問い」に対応する答えを出すような授業作りが求められる。

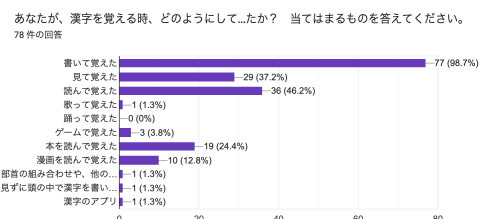
### 24.オンライン空間で「座の文学」を行う。

1. 反転授業での学習ゲーム「たほいや」
2. 積極的遠隔授業での「句会」

### 25.Googleフォームによる事前調査

(図1 Googleフォームによる事前調査)

1. 今までに受けてきた漢字指導、作文指導をアンケートで答えてもらい(図1)、理想的な指導との差は何かを考えさせた。我が事として考えることのできる授業にする。



### 26.共同編集機能などを活用し、オンライン上で作品作り 「作って学ぶ」<sup>2</sup>の実践。

1. 2020 3回生ゼミで、幼児向けの動画の見方、児童向けの遠隔授業の受け方の動画を作成させた。(京都橘大学研究起用 第47号 所収 「遠隔授業で作る、遠隔授業の見方動画 —3回生ゼミで幼児、児童を対象として—」)
2. 2020 教職入門で、デジタル教育辞典、デジタル未来の教育辞典を作成させた。
3. 2020 教職入門、2021 教職入門、教科教育法(国語)、国語科教育法1で、昔遊びの紹介のYouTube動画を作成させた。
  1. 教師がホストをするa-zoomから、学生たちがホストをするb-zoomへ。(別資料1 youtubeの相互評価)
  2. ファシリテーションのある授業の体験。
  3. b-zoomでのファシリテーション、相互評価の体験。
4. 2020 特別活動論で、遠足の実践報告の動画をYouTube動画で作成させた。
5. 2020 国語科教育法2で10分間の模擬授業をYouTube動画で作成させた。
6. 2021 小学校ICT教育演習で、電子ブック「ドローンを活用した



成さ

<sup>1</sup> 文部科学省 GIGAスクール構想の実現について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/other/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm) 小学校1年生から中学校3年生までに、一人一台のパソコンを配布して学習を進める計画。

<sup>2</sup> ブルームの教育目標分類学、いわゆるブloomタキソノミーでは、認知的領域の最上位概念を「創造」としている。これを元になっている。

2021年6月2日 水曜日

授業づくりのまとめ ~教室にドローンがやってきたら、さあ、どうする?~」を作成した。(別資料2 20 ドローン授業のまとめ)



## その他

- 27.「先生、ブラウザーってなんですか?」と言っていた学生たちも頑張った。
- 28.教師のドタバタを見せた方が良かった。
- 29.zoomの方が使い勝手も音質もいい。
- 30.zoomだと、カメラをオンにして授業をしても安定している。
- 31.ライフラインは二系統以上ないと困る。だから、teamsとzoom、またはmeatの併用が望ましい。
- 32.学生たちには、一つのツールに習熟させるのではなく、色々なツールに触れさせる必要がある。
- 33.『Zoomで始める遠隔授業』という電子ブックを書きました。京都橘学園の皆様には昨年度お分けしました。(え、そうなの? それは知らなかった。欲しいなあ)というかは、このQRコードからどうぞ。zoomをベースにして書いておりますが、teamsでも役に立つと思われることを書いております。なお、一般の方には販売しているものですので、コピーして学園の他の方に分けるのは、ご遠慮ください。



お役に立てれば幸いです。

池田 修